中山町公共施設再配置検討のための町民インタビューのレポートをお届けします！

vol.19

皆さんの「声」を聞かせてください！

拡大版／F チーム

3/8（土）に行われた、多世代が参加した町民インタビューのレポートの 6 回目です。多世代交流に対して高い関心がある一方で、「そのための場所がない」という、機会だけでなく空間に対するニーズを実感する場となりました。

〈参加者〉 10 代　10 代　40 代　山辺町出身者が飛び入り参加！ 40 代

中山町の良いところはやっぱり人！

挨拶し合える関係が近所にある

近所の人たちが優しい

町民がそれぞれにさまざまな活動をとおして「町をよくしよう！」と取り組んでいる

活動的な町民が多い

町民自身が「暮らしやすさ」を創出している

若者も社会のために動いてみたい！

山辺町から見ても良いところがたくさん！

◎いろんなところへの距離が近い
◎野菜、果物が美味しいし、良く育つ
◎利便性が良い
◎せせらぎ公園がとても良い
◎最上川や山並みが美しい
◎地域のつながりが強い

「よく、山辺の人は『中山町いいな』と言うし、中山の人は『山辺町いいな』と言っている。だから、良いところを持ち寄って、連携して何かイベントができたら楽しいかも！」

ボランティアをする機会が中山町にはない

もともとボランティアに興味があり、加えて、大学受験を控える身としても、受験時にアピールできるように地域活動に力を入れていきたい気持ちがあります。でも、中山町にはボランティアに取り組む機会がなく、仕方なく近隣の自治体に出向いて、ボランティア活動に参加しています。

中山町は、自分の興味関心や得意なことで地域を盛り上げようとする人たちが多くて素敵だなぁと思っています。そういう人たちが取り組むイベントにお邪魔すると、決して人手が足りているというわけではありません。ボランティアの募集も呼びかけているようですが、情報が欲しい人にしっかり届いていないのかもしれないですね。

こうした話がざっくばらんにできる場があれば、いろんな活動が町内で展開されやすくなるかもしれない！

最近は雰囲気のある個人のお店が増えてきて嬉しい！

新しいお店ができ始めていて、楽しみが増えた

空き地や空き店舗の活用にもつながっていて良い動きだと思う

みんなで集まれる場所は公共施設として整備してほしい

ほんわ館　中央公民館

みんなが集まる公共施設はあるけれど…

現状の居心地がいまいち…

町民にとっても観光客にとっても「たまり場」になるような場所がほしい

1 町民自身が「暮らしやすさ」をつくっている

他のグループと同様に、「挨拶し合える関係が近所にある」「地域の人たちが優しい」と、近所付き合いへの満足度の高さが多世代からうかがえました。結婚を機に中山町に移住してきた方からは、ご近所さんから野菜や果物をいただく機会もあるとして、「物々交換ができることはすごいことだと思う」という話もありました。

また、子ども食堂の取り組みや映画鑑賞会の開催、マルシェの企画等、町民がそれぞれに「町をよくしよう！」とさまざまな活動に取り組んでいることも「中山町の良いところ」として挙げられました。今では有名な「ひまわり迷路」も、もともとは長崎小学校の児童たちによる提案だと聞いたことがあります。こうして、一人一人が町のために活動することが積み重なって、「暮らしやすさ」が育まれていくと考えます。普段の近所付き合いも含めて、町民自身が中山町の暮らしやすさを創出しているという印象を受けました。

2 ボランティアに興味があるけれど、場面がない

高校生からは、「ボランティアに興味があるけれど、中山町には機会がない」という現状が語られました。これから大学入試を控える高校生にとっては、地域活動は大学に自身の社会に対する関心をアピールするための重要な場になります。高校生の一人は、ボランティア活動に取り組むために、近隣の自治体の活動に参加していると話してくれました。

一方、中山町における町民主体の地域活動においては、決して人手が足りているわけでもなく、「ぜひ活動を手伝ってほしい」という声が他の参加者から上がりました。

このように、お互いのニーズをマッチングさせることで抱えている課題が解決できることがあるにも関わらず、こうした話題を「話せる場」「話すために集まる場」がないというのが中山町の現状であり、「届いてほしい人に情報が届かない」という声も上がりました。

3 集まって居心地がよい場所がない

最近の中山町の良いところとして「雰囲気の良い個人のお店が増えてきて嬉しい」という話題が上がりました。また、空き店舗だったところに新しくお店がオープンし、「楽しみが増えた」という意見も出ました。

ただし、これは「個人でゆっくり過ごしたい時の選択肢が充実してきた」ということであり、「みんなで集まれる場所」については「足りない」という話でした。ほんわ館や中央公民館等、施設としては整備されていますが、「居心地」を問われると「いまいち」ということでした。町民だけでなく、観光客も「ゆっくり溜まれる場所がないから、通り過ぎてしまうのでは」という意見も出され、「誰でも滞在することができて、居心地よく過ごせる場所」へのニーズを感じました。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第 6 次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。
◎中山町「第 6 次中山町総合発展計画を策定しました」
https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html

【主催】中山町総務広報課防災安全対策室（中山町大字長崎 120 番地／電話：023-662-4899）
【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科　田澤ゼミ

〈2025 年 7 月発行〉